

4.6. 総合的・横断的な施策の方向性

4.6.1. 市民協働で実践する持続可能な環境活動

主要課題

市民や事業者の行動変革の促進

- ✓ 多くの市民が環境に対して高い関心を持ち、資源・エネルギーを必要以上に消費するライフスタイルから、環境に配慮したライフスタイルへと転換する必要性を認識しているものの、実践行動に結びつき、日常生活を変えていくまでには至っていません。
- ✓ 市民一人ひとりが自らの行動が社会経済や地球環境に影響を及ぼすことを自覚し、持続可能な社会の実現に向けて自発的・積極的に行動を変革し、日常生活において環境負荷の少ないライフスタイルが定着することが求められます。

多様な主体の行動・参画・協働による環境活動の推進

- ✓ 市民・NPO・事業者など多様な主体やあらゆる世代が、持続可能な社会を形成する担い手として、ごみの減量や資源化、省エネルギー、自然環境の保護・保全などの環境活動に取り組む必要があります。

高齢世代が参画・活躍する場づくり

- ✓ 超高齢社会が進行する中、元気で意欲的な高齢世代が地域づくりの担い手としていきいきと活躍することが期待されます。

4.6.1.1. 市民や事業者の行動変革の促進

施策の基本的方向

- 🍃 多様な分野における持続可能な開発のための教育（ESD）の推進
- 🍃 地域の人づくり拠点の構築
- 🍃 事業者による環境経営の推進

- ア 環境分野だけでなく、消費者教育、防災教育、福祉教育、食育、多文化共生教育、みどり教育、まちづくり教育など、多様な分野において持続可能な社会の重要性を意識した教育や啓発に取り組み、市民や事業者の行動変革を促します。
- イ 行政や市民団体等から情報を収集し、それらを基に地域の教育・保育施設に多様な分野の講座を提供するような「地域の人づくり拠点」を構築します。
- ウ 事業者の環境経営を推進するために、エコアクション21やISO14001などの取得を促すとともに、市が環境改善につながる技術開発、地域活動を認定・表彰する制度を推進します。

4.6.1.2. 多様な主体の行動・参画・協働による環境活動の推進

👉 施策の基本的方向

- 🌿 市民協働による 3R や省エネ行動の実践
- 🌿 多様な主体による森林整備の促進
- 🌿 市民、団体との協働による緑地の保全
- 🌿 市民・NPO・事業者との連携・協働による水辺の環境保全活動の推進
- 🌿 浜松市環境教育推進ネットワーク（はままつ E スイッチ）を活用した多様な主体の交流・連携促進

- ア 環境美化推進員や地球温暖化防止活動推進員などの地域の環境リーダーが家庭や地域における率先行動や啓発活動に努め、市民一人ひとりが 3R や省エネ行動を実践するよう促します。
- イ 森林ボランティア活動の充実など、多様な主体による森林整備を促進します。
- ウ 緑地保全や緑化推進を行う団体の創設や活動の拡大を促し、協働による取り組みを推進します。
- エ 市民・NPO・事業者と連携・協働して、河川・湖沼・海岸の清掃活動や水質浄化活動を推進します。
- オ 浜松市環境教育推進ネットワーク（はままつ E スイッチ）を活用して多様な主体の交流や連携を促し、環境教育の協働取り組みを推進します。

4.6.1.3. 高齢世代が参画・活躍する場づくり

👉 施策の基本的方向

- 🌿 環境活動の担い手としての高齢世代の活用

- ア 元気で意欲的な高齢者を地域の環境リーダーや環境教育の担い手として積極的に活用していきます。
- イ 地域との連携・協働を強化し、市民一人ひとりがエコライフを実践する地域づくりを目指します。

4.6.2. 安全で快適なくらしをスマートに実現する都市機能の充実

主要課題

環境負荷の低減に配慮した居住・都市機能の集約

- ✓ 郊外部において居住地や大型店舗などの立地により、都市のスプロール化が進んでいるため、計画的に立地誘導することが必要です。
- ✓ 行政機関、医療施設、福祉・子育て支援施設、商業施設などが拡散しているため、施設の集約化をしていくことが必要です。
- ✓ 老朽化した都市インフラの効率的な再整備とともに、気候変動などによる影響のリスクを評価し、影響の防止・軽減に資する適応対策を向上させることが必要です。

徒歩・自転車・公共交通を中心に考えた交通ネットワークの形成

- ✓ 日頃の過度な自動車利用を控え、徒歩、自転車、公共交通利用へと日常生活の転換を誘導する交通ネットワークの形成に取り組む必要があります。
- ✓ 子供から高齢者、障がい者が安全に移動できるようユニバーサルデザインに対応した交通基盤施設の整備が必要です。

エネルギーを最適利用する建物の普及やコミュニティ化

- ✓ 民生業務部門での延べ床面積、民生家庭部門での世帯数や世帯あたりの家電台数の増加により、CO₂排出量が増加しているため、環境に配慮した建物などの普及が必要です。
- ✓ 地域特性を活かした再生可能エネルギーの利活用を推進し、創り出した電力を無駄なく効率よく利用することが必要です。

4.6.2.1. 環境負荷の低減に配慮した居住・都市機能の集約

☞ 施策の基本的方向

🍃 拠点ネットワーク型都市構造の実現に向けて、居住誘導や都市機能誘導エリアの設定、公共・公益施設の再配置、公共交通機関のネットワークの再検討

- ア 拠点ネットワーク型都市構造の実現に向けた居住誘導や都市機能誘導エリアの設定などについて、公共交通機関と連携しながら検討します。
- イ 拠点ネットワーク型都市構造に照らした公共・公益施設の更新や再配置について、関係機関と協調しながら検討します。
- ウ 鉄道駅周辺や公共交通機関がある基幹道路周辺などに居住・都市機能誘導エリアの設定を検討します。
- エ 拠点への居住誘導を推進するため、医療や福祉施設の充実、子育て支援施設の設

置などの居住環境の整備を検討します。

オ 気候変動による環境変化に対する、適応策を検討します。

4.6.2.2. 徒歩・自転車・公共交通を中心に考えた交通ネットワークの形成

📖 施策の基本的方向

- 🌿 自転車利活用と公共交通への転換による自家用車への依存からの脱却
- 🌿 交通結節点の機能を強化
- 🌿 交通基盤施設のユニバーサルデザイン化の推進

- ア 自転車走行空間やサイクル&バスライド駐輪場などの整備により、自転車利活用と公共交通利用への転換を図ることで、過度な自家用車への依存から脱却をします。
- イ 主要な駅において、駅前広場の整備など乗換利便性の向上を図り、交通結節機能強化をします。
- ウ 都心において、歩行者や自転車に優しい空間を創出します。
- エ 子供から高齢者、障がい者が安全で自由に移動することができるように、交通基盤施設のユニバーサルデザイン化を推進します。

4.6.2.3. エネルギーを最適利用する建物の普及やコミュニティ化

📖 施策の基本的方向

- 🌿 建物のスマート化・ゼロエネルギー化の推進
- 🌿 スマートコミュニティの構築

- ア 住宅や工場、事業所など、個々の建物におけるエネルギーの最適利用（スマート化）、一次エネルギー使用量ゼロ（ゼロ・エネルギー化）を推進します。
- イ スマート化、ゼロ・エネルギー化された個々の建物のネットワーク化によるスマートコミュニティを構築します。

4.6.3. 環境イノベーションと地域経済の振興

主要課題

本市の特性を活かした環境・エネルギー産業の成長促進

- ✓ 林業就業者の高齢化や搬出コストの採算性の低さなどにより、利用されない間伐材が林地内に放置されているため、効率的な搬出方法を検討するとともに、新たな活用方法の検討が必要です。
- ✓ 産業資源として大きな可能性を持つ都市鉱山から、資源をリサイクルすることが必要です。
- ✓ 生ごみをエネルギーとして有効利用するために、新たな仕組みづくりが必要です。
- ✓ 輸送用機器産業の依存から脱却し、新たな産業を創出し複合的産業構造への転換が必要です。

環境資産の持続可能な活用による産業の振興

- ✓ 地域材を積極的に活用することで、市内外へ PR していくことが必要です。
- ✓ 環境資源と観光事業を連携させた、新たな仕組みづくりが必要です。
- ✓ 観光事業の振興を支えるために、広範な市域に広がる主要な観光拠点を、様々な交通手段で周遊しやすくすることが必要です。

環境・エネルギー産業の創造

- ✓ 環境・エネルギー分野の新製品開発を行う事業者を支援し、本市における関連産業の創造を図っていくことが必要です。

4.6.3.1. 本市の特性を活かした環境・エネルギー産業の成長促進

☞ 施策の基本的方向

- 🌿 木質燃料の普及啓発
- 🌿 バイオマスエネルギーの利活用の推進
- 🌿 金・銀・白金など有用な金属の資源物回収の推進
- 🌿 新たな事業の創出や販路開拓への支援

- ア 伐採した間伐材を効率的に搬出するための中間土場を整備するとともに、大口熱需要先である温室農家などに対する木質ペレットボイラーの導入や家庭用ペレットストーブの導入に対して支援します。
- イ 木質バイオマスや生ごみなどによるバイオマス発電など、バイオマスエネルギーの利活用を推進します。
- ウ 清掃工場などにおいて、金・銀・白金など有用な金属の資源を有する小型家電の

回収を推進します。

- エ 基幹産業と環境・エネルギー産業の融合による、新たな事業の柱の創出や海外も見据えた販路開拓を支援します。

4.6.3.2. 環境資産の持続可能な活用による産業の振興

👉 施策の基本的方向

- 🌿 地域材の積極的な活用・普及啓発によるブランド化
- 🌿 環境資産を活用した新たな観光産業の創出

- ア 天竜区役所や春野協働センターなどへの地域材活用を通じて、住宅、店舗などへの地域材活用を促進します。
- イ 認証森林の拡大に引き続き取り組むとともに、流通加工部門での森林認証取得を促進することで、天竜材のブランド化を進めます。
- ウ 浜松やらまいか交流会などを活用しながら、地域材を市外に対して積極的にPRをしていきます。
- エ 浜名湖などの環境資源を活用した滞在プログラムを充実させ、地域の魅力向上を図り、観光客の滞在を促進することで観光産業の活性化を図ります。

4.6.3.3. 環境・エネルギー産業の創造

👉 施策の基本的方向

- 🌿 再生可能エネルギーや省エネルギーに関する新技術開発や新事業展開の推進

- ア 環境・エネルギー産業を創造するため、浜松地域の基盤技術（輸送用機器関連、光・電子技術等）や地域の大学の技術シーズなどを活用し、再生可能エネルギーや省エネルギーに関する新技術開発や新事業展開を進めます。
- イ 電力の小売自由化を始めとする電力システム改革をビジネスチャンスに捉えた、新たなエネルギー関連ビジネスの創出を推進します。